

「チーム戸田小」として

＜子どもたち一人一人が生き生きと学習できるようにする＞

- ◎ **引きつける**：きっかけの意欲（あれ、おかしいぞ、おもしろそうだ）
 - ◎ **熱中させる**：のめり込む意欲（なるほど、わかってきたぞ、できた）
 - ◎ **続けさせる**：発展させる意欲（もっとやりたい、今度は自分でやるよ）
- ・・・子どもは、意欲的に課題に取り組み、それを解決した喜びを味わったとき、充実感を抱き、さらに次の段階・別の課題に取り組みようになる。
- 特に子どもは、人から存在やしたことを肯定され、認められていると感じたとき、自信を持ち、生き生きと意欲的に活動するものである。
- ・ 教材、教具、資料の収集、開発、有効活用、共有財産
 - ・ 学級の温かい受容的な雰囲気をつくる
 - ・ TT、合同、協力者の参加の授業、少人数学習、専科制授業、交換授業等
 - ・ 授業諸活動の実施計画を早めに作成、共通理解のもと実施

＜子どもたちが生き活きと生活できるようにする＞

- ◎ **目をかける**：温かいまなざし、いつも見守っているよ。
 - ◎ **声をかける**：認める言葉、励ます言葉、役立っているよ。
 - ◎ **手間をかける**：自信を持つように、できるまでねばり強く。
- ・・・子どもの願いや発想を支持し、なるべくその方向で実現するように援助する。

子どもの生命・安全・健康を第一に十分な気配りをする。

- ☆ 生命・安全・健康に関することは、全て優先する。
- ☆ 一日の出発は、声かけ、健康観察から行う。
- ☆ 表情・つぶやき・何気ないしぐさ、取り組みの様子を観察する。
- ☆ 担任、養護教諭、専科担当、児童指導担当、管理職等の連絡・相談・協力を十分する。
- ☆ 保護者との連絡・協力を十分とる。
- ☆ 心の教室相談員、スクールカウンセラー、専門家、関係機関等の指導・助言を進んで受ける。